

認知症サポーター養成講座 (関東信越厚生局 東京事務所)

日 時:令和8年1月16日(金) 14時00分～15時45分

会 場:関東信越厚生局 東京事務所 会議室

参加人数:36名

参加部署:関東信越厚生局 東京事務所 年金審査分室

講 師:角筈高齢者総合相談センター 副所長 伊良部 英樹氏 佐藤 ひかり氏

●このたび、関東信越厚生局 東京事務所におきまして、初めて認知症サポーター養成講座を開催することができました。

参加者からは、認知症を「特別な人の問題」ではなく、「誰もが当事者となり得る身近な課題」として捉える声が多く寄せられました。また、「驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない」といった関わり方の大切さや、本人の気持ちに寄り添う視点について、寸劇やロールプレイを通じて理解が深まった様子がうかがえます。

今回、初めて開催した認知症サポーター養成講座では、多くの気づきや学びの声が寄せられ、認知症を自分ごととして考えるきっかけとなる喜ばしい機会となりました。

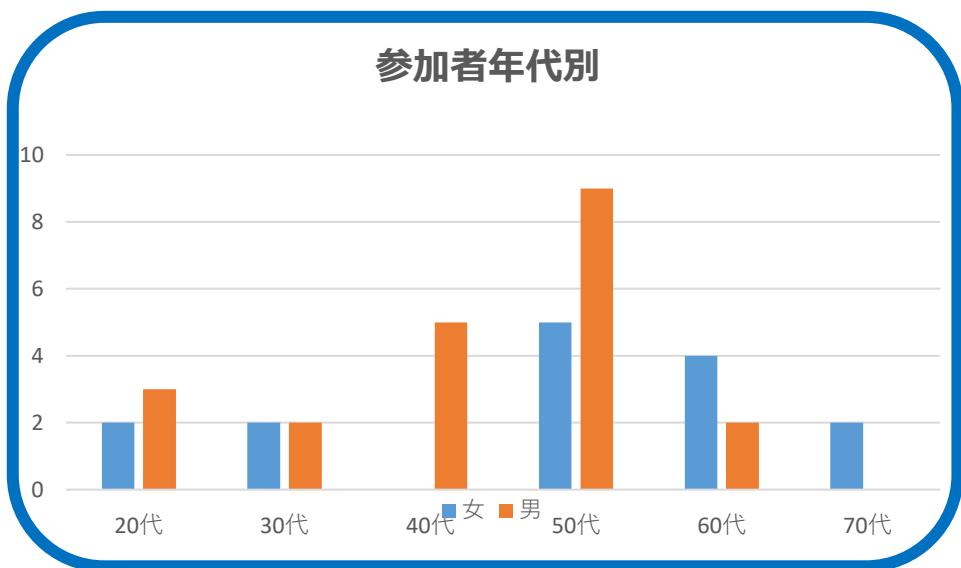
～当日の様子～



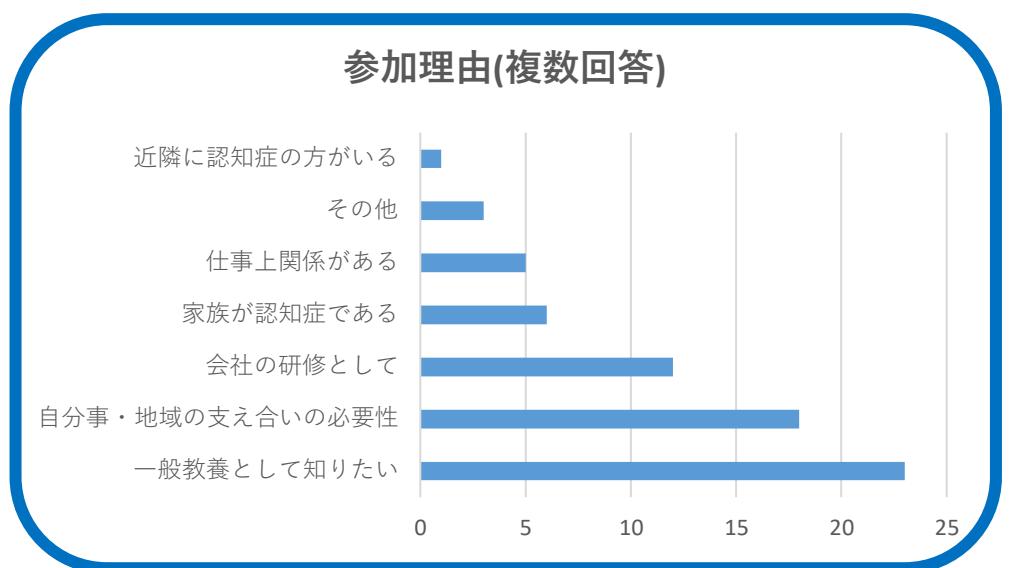
～アンケート結果～

アンケート回収率: 100%

1. 参加者の内訳



2. 参加理由



3. 参加しての感想

- ・「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」が大切に忘れないようにしたいです。この内容を心がけて対応していきたい。
- ・認知症と聞くと手助けが必要な人と考えてしまいがちでしたが、本人の意思でできることを尊重することも大切だと感じました。
- ・声掛けの重要性を学びました。もし、認知症かもしれないという人を見かけた際には、物おじせず、様子を確認してから、お手伝いできることを聞こうと思います。
- ・ありがとうございました。まとまった内容で理解が深まりました。
- ・家族や職場での小さな気づきがあれば相談にのったり、医療機関の受診をすすめたい。